

第1回 SBRT 治療計画実習講習会参加報告

神戸市立西神戸医療センター 放射線技術部

伊藤 崇晃

私は平成 29 年 8 月 19 日に、東京都にあるバリアンメディカルシステムズ エデュケーションセンターで開催された「第1回 SBRT 治療計画実務講習会」に参加致しました。

当院では医学物理士のポストは無く、私は診療放射線技師（兼医学物理士）として照射業務と治療計画作成補助業務、治療装置の精度管理業務を担当しています。今回、この SBRT 治療計画講習会で経験豊富な講師の先生方から SBRT 治療計画のいろはを学び、より質の高い治療計画を患者に提供したいと考えて応募致しました。以前から SBRT 治療計画の講習会があったらなと考えていた矢先に医学物理士の HP で見つけ、飛びついた次第です。

当日、会場には 20 名の参加者(医師 5 名、医学物理士 10 名、技師 5 名)それぞれに治療計画装置が用意されており、デュアルディスプレイで講師の治療計画作成手順を片方の画面で参照しながら実習を進めていくという形式でした。

はじめに、手術可能例に対する肺 SBRT が有効な治療法であることを示唆する論文の紹介のあとに、治療計画立案者の違いが治療計画の質の差に大きく影響するという結果の論文の紹介がありました。改めて治療計画に携わる医学物理士の重要性を感じ、身が引き締まりました。SBRT 治療計画に用いる CT 画像は、様々なパターンの症例が全てコントロール完了した状態で用意されており、典型的なパターンの 1 例を講師とともに作成しながら SBRT 治療計画手順のレクチャーがありました。その後は、各々で試行錯誤しながら治療計画を作成し、わからないことがあれば講師の先生方が直接指導してもらう形式でした。私は治療計画の経験が浅く不慣れであったので、参加する前は非常に不安だったのですが、講師の先生方から優しく教えて頂き講習が始まってその不安はすぐ解消されました。また資料の中にある SBRT 治療計画超簡易版マニュアルがとてもわかりやすく感動しました。実習の合間に、ビームアレンジの方法や照射エネルギーの違い、線量処方の違い、計算アルゴリズムの違い、呼吸性移動対策、3DRT と VMAT の違いなど他にも様々なレクチャーがあり、今さら聞けないような基礎的な事から目からうろこが落ちるようなコツまで学ぶことができました。最後に、Q&A の時間が用意されていて事前に集めた質問に対して講師の先生方から回答を頂き、講習会が終了しました。

講習会終了後の懇親会では、多くの先生方と接する機会を持つことができ、日々の業務で困っていることやその他ここでしかきけないようなもろもろの話を聞くことができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。今後は、本講習会で学んだ知識を業務にフィードバックし、より質の高い医療を提供できるように精進していきたいと思います。

最後になりましたが、本講習会の参加および助成金制度を利用させて頂き、日本医学物理士会の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。